

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

| 事業の概要 | | | |
|--------|------|---------------|--|
| 事業開始年度 | | 昭和46年度～ | |
| 総合計画 | 大項目 | 03 | 地域文化と人が輝くまちづくり |
| | 基本目標 | 02 | 生きがいのあるまちづくり |
| | 中項目 | 02 | 生涯学習課生涯学習係 |
| | 小項目 | 03 | 成人教育 |
| 事務事業名 | | 05 | 社会教育事業 |
| | | 根拠法令・例規等 | 社会教育法 |
| | | 問合先 | 担当課(室) 生涯学習課生涯学習係 職・氏名 係長 波多野 靖成 電話 0869-64-1841 |
| | | このシート作成に要した時間 | 6.0 時間 |

| 事業の目的 | |
|--------------------------|--|
| 対象(誰・何に対して) | 社会教育・生涯学習関係団体や熟年代及び次世代を担う青少年等 |
| 目的(何のために) | 自らの実生活に即した幅広い学習ができる環境の整備と社会教育及び生涯学習振興の気運を醸成する。 |
| 事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか) | 市民一人ひとりが自らの実生活に即した幅広い学習に取り組み、心豊かで生きがいのある地域社会を構築する。 |

事業の目的、対象、内容を考えてながら妥当性の評価を行って下さい

| 事業の実績 | | | |
|-----------------|---|-----|--|
| 細事業名 | 事業の説明 | 優先度 | |
| 社会教育委員活動事業 | 社会教育(学校教育以外で主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動)に関し、教育委員会へ助言することを目的とした社会教育委員の活動に関する事業。 | | |
| 社会教育指導員活動事業 | 教育一般に豊かな識見を有し、かつ社会教育に関する指導技術を身に付けている指導員が人権教育について直接指導を行う。 | | |
| 教育の日関連事業 | 教育に対する認識を高めるとともに、学校教育及び生涯学習の振興の気運を醸成し、その充実と発展を図ることを目的とした事業。 | | |
| 成人式運営事業 | 社会人になったことを自覚し、自らの努力で人生を切り拓こうとする新成人を祝い励ますことを目的として成人式を行う。 | | |
| 学校地域支援本部事業 | 地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、教員の子どもと向き合う時間の増加、住民等の学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力の活性化を図ることを目的とした事業。 | | |
| 目的を達成するため実施した事業 | | | |

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

| 事業費等 | | 単位 | 平成19年度実績 | 平成20年度実績 | 平成21年度実績 |
|---------------|-----------|----|-----------------------|-----------|-----------|
| 決算額 | 直接事業費 | 千円 | 3,037 | 2,205 | 1,927 |
| | 必要人員(人件費) | 人 | 0.32人 | 2,590 | 0.34人 |
| | 事業費計 | 千円 | 5,627 | 5,200 | 6,495 |
| | 国県支出金 | 千円 | | | |
| 受 益 者 負 担 | | | | | |
| 繰 入 金 債 | | | | | |
| 市 債 | | | | | |
| そ の 他 () | | | | | |
| 一 般 財 源 | | | 5,627 | 5,200 | 6,495 |
| 受 益 者 負 担 比 率 | % | | - | - | - |
| 結果指標名 | | 単位 | 平成19年度実績 | 平成20年度実績 | 平成21年度実績 |
| 成人式参加者数 | 説明 | | 活動コストに対する成人式への参加者数の推移 | | |
| 結果指標量 | | | 356 | 325 | 320 |
| 対前年比 | % | | - | 91.3% | 98.5% |
| 活動コスト | | 円 | 1,355,000 | 1,866,000 | 1,823,000 |
| 単位当たりコスト | | | 3,806 | 5,742 | 5,697 |

| 事業の成果 | | | | | |
|---|----------|--------|--------|--------|-----------|
| 成果指標名 | 年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度目標値 |
| 成人式における新成人の参加率 | 目標値(A) | 90 | 90 | 90 | 90 |
| | 実績値(B) | 80 | 78 | 74 | 到達目標値 |
| | 達成率(B/A) | 88.89% | 86.67% | 82.22% | 75 |
| 成果指標設定の考え方・式や説明 | | | | | |
| 本事業の目的に迫るためには、新成人が式に参加することが第一歩となる。新成人の参加率の推移を指標として挙げることで成人式のあり方を検討することができるものと考えられる。実績値(%) = 成人式参加者数 ÷ 住民基本台帳対象者 × 100 | | | | | |

| 事務事業の評価 | | | |
|---------|----------|--|----------------------------|
| 妥当性の評価 | 市の関与の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い | 妥当性評価 <A-E> B |
| | 市民ニーズ | | |
| 効率性の評価 | コスト | <input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている | 効率性評価 <A-E> C |
| | 目的達成度 | <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している | 有効性評価 <A-E> C |

留意事項
事業の目的やその他の数値目標を達成するための結果指標

| 進行年度(H22年度)の改革改善内容 | | | | | | |
|--------------------|--|------|-----|----|------|-------|
| 状況 | 拡充 | 現状継続 | 見直し | 縮小 | 整理統合 | 休止・完了 |
| 説明 | 成人式に関しては、ソフト面の充実と広報活動の工夫により参加率向上をめざす。学校支援地域本部事業では、従来のボランティア対象の全体研修会に加えて、グループごとの研修会を実施することでより学びのニーズに応えることのできる学習の機会を拡充し、知の循環型社会形成の一助とする。 | | | | | |

| 総合評価 | |
|--|---------------------------|
| 成人式の参加者の大半は、同窓会程度の意識であり、本事業の目的を達成しているとは言えない状態である。市民との協働でこの目的の達成をめざした成人式のあり方を検討する。学校支援地域本部事業では、初めて年間を通じた活動がなされ、今後の活動の礎となった。 | 評価区分 <A-E> C |



| 平成23年度の方向性及び取組目標 | | | | | | |
|------------------|---|------|-----|----|------|-------|
| 方向性 | 拡充 | 現状継続 | 見直し | 縮小 | 整理統合 | 休止・完了 |
| 取組目標 | メンバー構成や会の持ち方等、実行委員会のあり方を見直し、市民との連携・協働を推進することでソフト面の充実に努める。 | | | | | |